

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間：2022年9月1日～2023年8月31日



発行日：2023年10月19日

改訂日：2024年1月17日

株式会社 ミクニ製作所

目次

1. 組織の概要	3
2. 実施体制	4
3. 環境方針	5
4. 環境目標	6
5. 環境経営計画	7
6. 環境目標の実績	8
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組	9
8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び 評価結果の違反、訴訟等の有無	10
9. 代表者の全体評価と見直し結果	10
10. 次年度環境目標	11
11. 次年度環境経営計画	12



1.組織の概要

(1) 事業者名及び代表者氏名

株式会社 ミクニ製作所 代表取締役社長 尾崎勝彦

(2) 事業名称及び所在地

本 社 千443-0041 愛知県蒲郡市宮成町3番31号

第1工場、第2工場 同上

(3) 環境管理責任者氏名及び担当連絡先

環境管理責任者 業務部営業課 係長 羽賀栄一 TEL:0533-68-7271

連絡担当者 業務部営業課 山本祐士 TEL:0533-68-7271

E-mail: sales@mikuni-ss.com

(4) 事業内容

自動車向けオイルブレーキホース金具の製造及び販売

(5) 事業の規模

法人設立年月日 1950年

資本金 3,000万円

総従業員数 31名

敷地総面積 4,669m²

建物総面積 2,943m²

(6) 事業年度

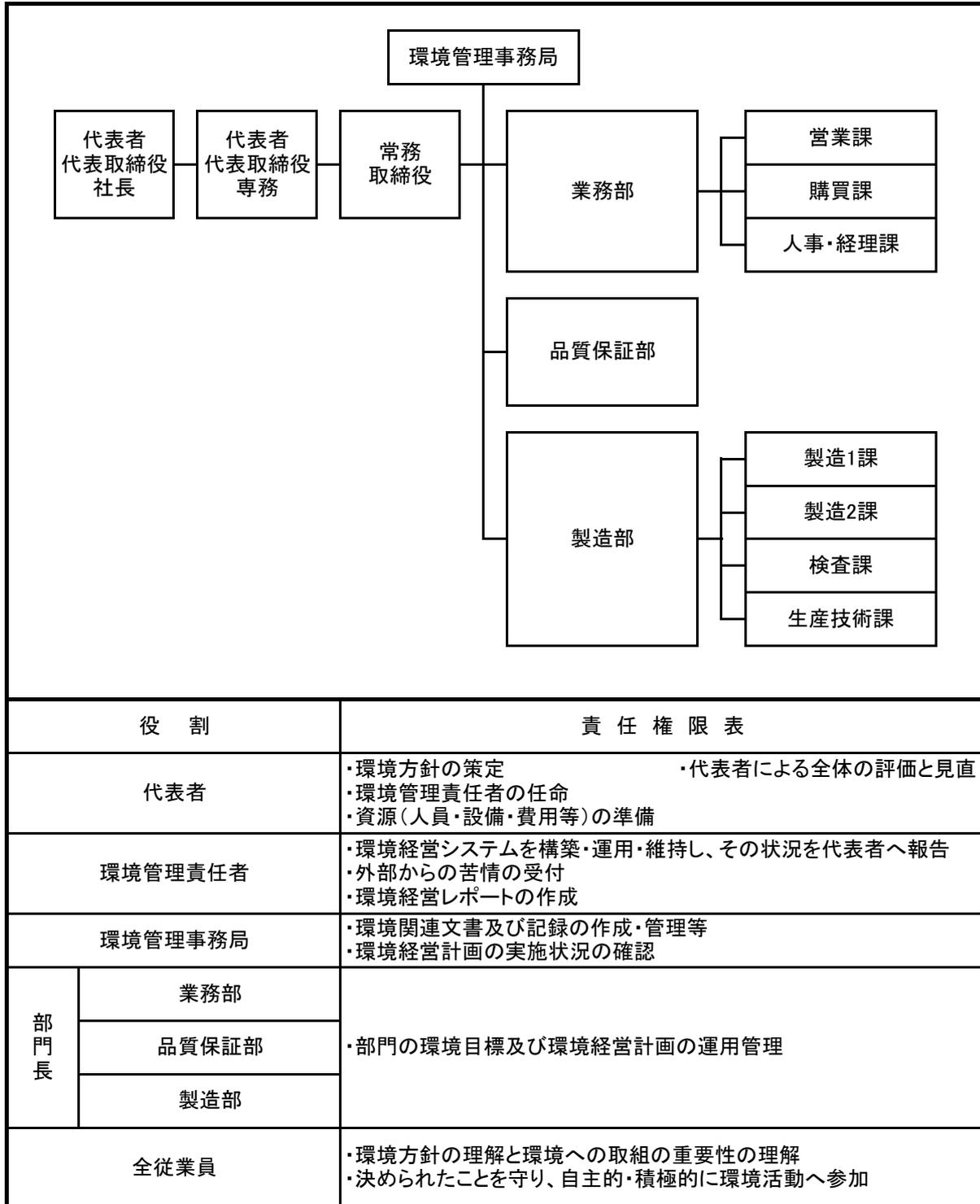
9月～8月

(7) 認証登録範囲

対象組織 全社、全組織を活動対象

2.実施体制

目的達成のための活動組織



3.環境方針

株式会社 ミクニ製作所 環境方針

当社は、輸送機器部品製造の事業活動において、環境に影響する業務があることを認識し、環境経営システムの構築及び運用することにより、自主的・積極的に、環境への取組を推進します。

1. 環境関連法規則や当社が約束した、その他の要求事項を遵守します。
2. 次の事項について具体的な環境目標・環境活動計画を定め実施します。
 - ①省エネルギーに取り組み二酸化炭素排出量の削減(電気使用量、灯油、ガソリン等の使用量の削減)を推進します。
 - ②廃棄物の削減と資源の再利用活動(廃棄物の分別の徹底、リサイクル率の向上)を推進します。
 - ③節水につとめ水の使用量を削減します。
 - ④化学物質使用量の適正な維持管理に努めます。
 - ⑤事務用品のグリーン購入を推進します。
 - ⑥環境に配慮した製品の提供に努めます。
 - ⑦社会貢献活動を積極的に行います。
 - ⑧環境目標及び環境活動計画達成の為、その定期的な見直しを行うことにより、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
3. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日:2017年7月28
日

改訂日:2021年11月1日
株式会社 ミクニ製作所
代表取締役 尾崎勝彦

4.環境目標

環境管理責任者は、環境方針、環境目標を関係する部署に周知する

作成日:2024年1月17日

環境経営目標項目	単位	2020年9月 ～2021年8月	2022年9月 ～2023年8月	2023年9月 ～2024年8月	2024年9月 ～2025年8月
		基準年度 実績	目標	目標	目標
CO2排出量の削減	kg-CO2	18年度実績 556,407	1%削減 550,843	基準年実績比 1%以上削減	基準年実績比 1%以上削減
電力使用量の削減	kwh	18年度実績 969,717	1%削減 960,020	基準年実績比 1%以上削減	基準年実績比 1%以上削減
ガソリン使用量の削減	L	5,399	1%削減 5,345	基準年実績比 1%以上削減	基準年実績比 1%以上削減
LPG使用量の削減	kg	24.84	1%削減 24.59	基準年実績比 1%以上削減	基準年実績比 1%以上削減
産業廃棄物の削減	t	17年度実績 2.18	17年度実績1%削減 2.16	基準年実績比 1%以上削減	基準年実績比 1%以上削減
水使用量の削減	m ³	207	1%削減 205	基準年実績比 1%以上削減	基準年実績比 1%以上削減
化学物質 使用量の確認	L	適正管理の 維持	適正維持 ・管理	適正管理の 維持	適正管理の 維持
グリーン購入の 推進	品目	2点以上購入	2点以上購入	2点以上購入	2点以上購入
不良率の低減	%	1.53	1%削減 1.51	基準年実績比 1%以上削減	基準年実績比 1%以上削減
工場周辺の ゴミ拾い	—	全員参加での 活動 (4回/年)	全員参加での 活動 (4回/年)	全員参加での 活動 (4回/年)	全員参加での 活動 (4回/年)

※2021年1月からは、(株)中部電力 二酸化炭素排出係数:0.459kg-CO2/kWhを使用する。

※2019年～2021年度はコロナ禍のため稼働時間が減少した。
CO2排出量、電気使用量の目標設定は、基準年度を2018年度の実績を使用する。

※基準年度の2020年度は設備廃棄に伴った、イレギュラーな処理が増えた。
そのため、産業廃棄物排出量の目標設定は、基準年度を2017年度の実績を使用する。

5.環境経営計画

作成日:2022年12月14日

①省エネルギーに取り組み二酸化炭素排出量の削減(電気使用量、ガソリン 他の使用量削減)					
分類	順守事項	活動内容	目標	責任者	
二酸化炭素排出量の低減	電気使用量	空調の温度管理/清掃 (夏場28° 冬場21° 風量弱 推奨)	1%削減	環境管理事務局	
		空調の照待機電力低減 照明器具の省エネ化(LED化)			設定温度の均一化。遵守状況を巡回で徹底確認・指導実施
		冷風機(スポットクーラー)の使用管理 (冷風 風量中 推奨)			長期休憩時間は電源OFFを徹底 照明LED化の積極的推進
		照明の無人スペース消灯/清掃 (工場内外、トイレ)			長期休憩時間は電源OFF 冷風機の適正使用
		電気の漏電 エア-漏れの改善			必要のない照明は電源OFF。遵守状況を巡回で徹底確認・指導実施
		段取時/設備長期停止時のチップコンベアーの停止			漏れ箇所は発見時即改善
	退社時のOA機器類の電源OFF 長期で必要ないものはコンセントを抜く	チップコンベアーを停める *復帰時の稼働し忘れに注意!			
ガソリン	エコ運転の実施	自己意識の高揚	1%削減	環境管理事務局	
LPG	給湯作業の効率化	長時間給湯作業を行わない	1%削減	環境管理事務局	
②廃棄物の削減と資源の再利用(廃棄物の分別の徹底、リサイクル率の向上)					
分類	遵守事項	活動内容	目標	責任者	
廃棄物の削減	一般廃棄物 産業廃棄物	廃棄物の分別	17年度実績 1%削減	環境管理事務局	
	産業廃棄物 (ウエス他)	産業廃棄物排出量の低減 (廃ウエス、おが粉等)		ウエスのサイズと使用回数の取決 緊急、特別な用途以外についておが粉の使用を管理する	各ライン管理者
③節水につとめ水の使用量を削減します					
分類	遵守事項	活動内容	目標	責任者	
水道水	水使用量の適正使用	節水表示の推進 漏水の定期チェック	1%削減	環境管理事務局	
④化学物質使用量の適正な維持管理に努めます					
分類	遵守事項	活動内容	目標	責任者	
シンナー・灯油	化学物質の適正取扱/管理	注意事項を掲示する 管理状況の定期チェック	適正管理	各ライン管理者	
⑤事務用品のグリーン購入を推進します					
分類	遵守事項	活動内容	目標	責任者	
グリーン購入	事務用品のグリーン品購入	エコマークが付いた物を優先的に購入	年2個以上	環境管理事務局	
⑥環境に配慮した製品の提供に努めます					
分類	遵守事項	活動内容	目標	責任者	
不良率	標準書どおりに作業すること	作業者遵守チェックリストによる教育の強化及び監督者巡回・指導	1%削減	環境管理事務局	
⑦社会貢献活動を積極的に行います					
分類	遵守事項	活動内容	目標	責任者	
工場近隣の清掃	社会貢献活動の推進	工場周辺の定期的掃除を実施	年4回	環境管理事務局	

日程:2022年9月~2023年8月

6.環境目標の実績

前年同期実績をベースに、運用期間(2022年9月～2023年8月)の実績・評価を以下に示す。

作成日:2023年10月10日

環境目標項目	単位	2020年9月 ～2021年8月	2022年9月 ～2023年8月	2022年9月 ～2023年8月	基準年比 削減率 (%)	評価
		基準年度 実績	目標	実績		
CO2排出量の削減	kg-CO2	18年度実績 556,407	1%削減 550,843	426,736	-23.3	達成
電力使用量の削減	kwh	18年度実績 969,717	1%削減 960,020	900,152	-7.2	達成
ガソリン使用量の削減	L	5,399	1%削減 5,345	4,863	-9.9	達成
LPG使用量の削減	kg	24.84	1%削減 24.59	26.91	8.3	未達成
産業廃棄物の削減	t	17年度実績 2.18	17年度実績1%削減 2.16	5.52	153.2	未達成
上水使用量の削減	m ³	207	1%削減 205	370	78.7	未達成
化学物質使用量の 確認	L	適正管理の 維持	適正維持 ・管理	適正管理の 維持	—	達成
グリーン購入の推進	品目	2点以上購入	2点以上購入	2点以上購入	—	達成
不良率の低減	%	1.53	1%削減 1.51	1.50	-2.0	達成
工場周辺のゴミ拾い	—	全員参加での 活動 (4回/年)	全員参加での 活動 (4回/年)	全員参加での 活動 (4回/年)	—	達成

※2021年1月からは、(株)中部電力 二酸化炭素排出係数:0.459kg-CO2/kWhを使用する。

※基準年度の2020年度はコロナ禍のため稼働時間が減少した。
そのため、CO2排出量、電気使用量の目標設定は、基準年度を2018年度の実績を使用する。

※基準年度の2020年度は設備廃棄に伴った、イレギュラーな処理が増えた。
そのため、産業廃棄物排出量の目標設定は、基準年度を2017年度の実績を使用する。

7.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組

作成日：2023年10月11日

①省エネルギーに取り組み二酸化炭素排出量の削減(電気使用量、灯油他の使用量削減)					
分類	活動内容	評価者	評価	実施状況の評価と次年度の取組み	
二酸化炭素排出量の低減	電気使用量	設定温度の均一化 *夏場は冷風機をメインで使用	環境管理事務局	◎	空調の設定温度遵守と不要照明OFFの取り組みで、電気使用量の低減に繋がった。 水銀灯タイプの照明のLED化を実施。 引き続き励行を継続する。 【次年度での新たな取組み】 人感センサーを採用して電力ロスを削減。 工場の変圧器を更新して電力ロスを削減。
		長期休憩時間は電源OFF 照明のLED化	環境管理事務局	◎	
		長期休憩時間は電源OFF (無人場所)	各ライン管理者	○	
		必要のない照明は電源OFF 定期的な清掃を心掛ける	環境管理事務局	○	
		漏れ箇所の改善	各ライン管理者	◎	
		チップコンペアーを停める *復帰時の稼働し忘れに注意!		△	
	退社時には、パソコン、プリンター、コピー機その他OA機器の電源をOFF	環境管理事務局	◎		
ガソリン	自己意識の高揚	環境管理事務局	◎	コロナ禍で遠方への出張が減少したことに伴い、ガソリン使用量も減少した。Web会議を推進し、自動車の使用を減らす。	
LPG	長時間給湯作業を行わない	環境管理事務局	△	福利厚生を目的とした給湯器の新規導入によりLPG使用箇所が増え、使用量が増したが適正利用されていた。	
②廃棄物の削減と資源の再利用(廃棄物の分別の徹底、リサイクル率の向上)					
分類	活動内容	評価者	評価	実施状況の評価と次年度の取組み	
廃棄物の削減	一般廃棄物 産業廃棄物	廃棄物の分別の徹底 (産廃、一般ゴミ、缶など)	環境管理事務局	△	不要設備の廃棄、社内整理や清掃活動によりイレギュラーな処理があり増加した。 【次年度での新たな取組み】 ウエスの素材・サイズを変更して廃棄物低減
	産業廃棄物 (ウエス他)	ウエスのサイズと使用回数の取決 緊急、特別な用途以外についておが粉の使用を管理する	各ライン管理者	△	
③節水につとめ水の使用量を削減します					
分類	活動内容	評価者	評価	実施状況の評価と次年度の取組み	
水道水	節水表示の推進 漏水の定期チェック	環境管理事務局	△	福利厚生を目的とした給湯器の新規導入で上水使用箇所が増えたこと、社内植樹活動の水やりで使用量が増え、浄水使用量が増したが適正利用されていた。	
④化学物質使用量の適正な維持管理に努めます					
分類	活動内容	評価者	評価	実施状況の評価と次年度の取組み	
シンナー・灯油	注意事項の掲示 管理状況の定期チェック	各ライン管理者	◎	適正取扱/管理ができた。 引き続き励行を継続する。	
⑤事務用品のグリーン購入を推進します					
分類	活動内容	評価者	評価	実施状況の評価と次年度の取組み	
グリーン購入	エコマークが付いた物を優先的に購入	環境管理事務局	◎	グリーン購入対象品を購入した。 引き続き励行を継続する。	
⑥環境に配慮した製品の提供に努めます					
分類	活動内容	評価者	評価	実施状況の評価と次年度の取組み	
不良率	作業者遵守チェックリストによる教育の強化及び監督者巡回・指導	各ライン管理者	◎	不良率が低減した。作業者遵守チェックリストに沿った教育を継続する。	
⑦社会貢献活動を積極的に行います					
分類	活動内容	評価者	評価	実施状況の評価と次年度の取組み	
工場近隣の清掃	工場周辺の定期掃除を実施	環境管理事務局	◎	計画を立て実施した。 引き続き励行を継続する。	

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

8.環境関連法規等の順守状況の確認及び評価結果の違反、訴訟等の有無

- 1) 環境関連法規への違反はありませんでした。
 2) 関係機関からの違反等の指摘及び訴訟、近隣からの苦情等も過去3年間ありませんでした。
 順守評価者: 環境管理事務局

作成日: 2023年10月11日

適用法令等	内容	遵守項目	順守 評価日	評価
廃掃法	油泥 廃ウエス等	表示: 60cm角以上、種類、氏名・連絡先 許可業者に委託(産廃は契約) マニフェスト発行・返送遅延時の届出 マニフェスト交付状況の報告 契約書・許可証の写しの保管	2023年 10月9日	遵法
廃棄物の適正な処理の 促進に関する条例		処理を委託する場合における確認等 実地確認の記録の保管 蒲郡市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		遵法
家電リサイクル法	テレビ・冷蔵庫 PCなど	指定業者にて処分		遵法
フロン排出抑制法	エアコン・ドライヤ	フロン使用設備の点検(業務用エアコン等) 引取証明書による回収・破壊工程の確認 点検記録の保管		遵法
騒音規制法	準工業地域 空気圧縮機	特定施設の届出 基準の順守 県民の生活環境の保全等に基づく条例		遵法
振動規制法	準工業地域 空気圧縮機	特定施設の届出 基準の順守 県民の生活環境の保全等に基づく条例		遵法
消防法	危険物取扱、施設点検 の遵守及び各届出	取扱、点検及び報告 蒲郡市火災予防条例		遵法
県民の生活環境保全等 に関する条例	アイドリングストップ	アイドリングストップの実施		遵法

9.代表者の全体評価と見直し結果

項目	評価内容	見直しの必要性
環境方針	現時点での見直しの必要はない。経過を見守る	なし
環境目標及び 環境経営計画	【二酸化炭素排出量の低減】 脱炭素活動は、顧客要求も高まっており、当社でもできることから粛々と進めている。高遮断熱ブラインドの導入により外熱を遮断し、冷媒効率を上昇させることや、パルスブローエアージェットの導入を図った。経時で観察を行っているが、電力消費量の削減など一定量の効果は確認できている。	なし
	【産業廃棄物排出量の削減】 社内レイアウト変更により廃棄物は増加したが、通常の産廃は同水準推移。	なし
	【不良率の低減】 新設CNC旋盤の導入もあり、老朽化設備における不良発生は減少傾向である。引き続き工程改善活動を進め、ネック工程の不良率低減を図っていく。	なし
全体	環境目標に対し一部、未達成の項目があるが、従業員の環境意識も向上し、まずまずの結果であった(ただし顧客の失注に伴う影響や、競合他社への転注など影響で生産数が減少し、結果としてエネルギーの消費が少なかった面もある)。顧客との取引に当たり、脱炭素活動への取組みは必須の条件となっており、当社も必要不可欠な問題と意識し、会社全体の課題として取り組みを行っていく。	なし

2023年10月11日 株式会社 ミクニ製作所 代表取締役 尾崎勝彦

10.次年度環境目標

環境管理責任者は、環境方針、環境目標を関係する部署に周知する

作成日:2024年1月17日

環境目標項目	単位	2022年9月 ～2023年8月	2023年9月 ～2024年8月	2024年9月 ～2025年8月	2025年9月 ～2026年8月
		基準年度 実績	目標	目標	目標
CO2排出量の削減	kg-CO2	389,765	1%削減 385,867	基準年実績比 1%以上削減	基準年実績比 1%以上削減
電力使用量の削減	kwh	900,152	1%削減 891,150	基準年実績比 1%以上削減	基準年実績比 1%以上削減
ガソリン使用量の削減	L	4,863	1%削減 4,814	基準年実績比 1%以上削減	基準年実績比 1%以上削減
LPG使用量の削減	kg	26.91	1%削減 26.64	基準年実績比 1%以上削減	基準年実績比 1%以上削減
産業廃棄物の削減	t	^{17年度実績} 2.18	1%削減 2.16	基準年実績比 1%以上削減	基準年実績比 1%以上削減
上水使用量の削減	m ³	370	1%削減 366	基準年実績比 1%以上削減	基準年実績比 1%以上削減
化学物質 使用量の確認	L	適正管理の 維持	適正管理の 維持	適正管理の 維持	適正管理の 維持
グリーン購入の 推進	品目	2点以上購入	2点以上購入	2点以上購入	2点以上購入
不良率の低減	%	1.50	1%削減 1.49	基準年実績比 1%以上削減	基準年実績比 1%以上削減
工場周辺の ゴミ拾い	—	全員参加での 活動 (4回/年)	全員参加での 活動 (4回/年)	全員参加での 活動 (4回/年)	全員参加での 活動 (4回/年)

※2022年1月からは、(株)中部電力 二酸化炭素排出係数:0.433kg-CO2/kWhを使用する。

※2022年度は設備廃棄に伴った、イレギュラーな処理が増えた。
そのため、2023年度の産業廃棄物排出量の目標設定は、
基準年度を2017年度の実績とし、2.18を使用する。

11.次年度環境経営計画

作成日:2023年10月13日

①省エネルギーに取り組み二酸化炭素排出量の削減(電気使用量、ガソリン 他の使用量削減)				
分類	順守事項	活動内容	目標	責任者
二酸化炭素排出量の低減	電気使用量	空調の温度管理/清掃 (夏場28° 冬場21° 風量弱 推奨)	1%削減	環境管理事務局
		空調の照待機電力低減 照明器具の省エネ化(LED化)		環境管理事務局
		冷風機(スポットクーラー)の使用管理 (冷風 風量中 推奨)		各ライン管理者
		照明の無人スペース消灯/清掃 (工場内外、トイレ)		環境管理事務局
		照明機器の漏電 エアー漏れの改善		各ライン管理者
		段取時/設備長期停止時のチップコンベアーの停止		各ライン管理者
		電力ロスの低減		工場の変圧器を変更
		退社時のOA機器類の電源OFF 長期で必要ないものはコンセントを抜く		退社時には、パソコン、プリンター、コピー機その他OA機器の電源をOFF
	ガソリン	エコ運転の実施	自己意識の高揚	1%削減
LPG	給湯作業の効率化	長時間給湯作業を行わない	1%削減	
②廃棄物の削減と資源の再利用(廃棄物の分別の徹底、リサイクル率の向上)				
分類	遵守事項	活動内容	目標	責任者
廃棄物の削減	一般廃棄物 産業廃棄物	廃棄物の分別	1%削減	環境管理事務局
	産業廃棄物 (ウエス他)	産業廃棄物排出量の低減 (廃ウエス、おが粉等)		各ライン管理者
		ウエスの素材・サイズを変更 緊急、特別な用途以外についておが粉の使用を管理する		
③節水につとめ水の使用量を削減します				
分類	遵守事項	活動内容	目標	責任者
水道水	上水使用量の適正使用	節水表示の推進 漏水の定期チェック	1%削減	環境管理事務局
④化学物質使用量の適正な維持管理に努めます				
分類	遵守事項	活動内容	目標	責任者
シンナー・灯油	化学物質の適正取扱/管理	注意事項を掲示する 管理状況の定期チェック	適正管理	各ライン管理者
⑤事務用品のグリーン購入を推進します				
分類	遵守事項	活動内容	目標	責任者
グリーン購入	事務用品のグリーン品購入	エコマークが付いた物を優先的に購入	年2個以上	環境管理事務局
⑥環境に配慮した製品の提供に努めます				
分類	遵守事項	活動内容	目標	責任者
不良率	標準書どおりに作業すること	作業者遵守チェックリストによる教育の強化及び監督者巡回・指導	1%削減	環境管理事務局
⑦社会貢献活動を積極的に行います				
分類	遵守事項	活動内容	目標	責任者
工場近隣の清掃	社会貢献活動の推進	工場周辺の定期的掃除を実施	年4回	環境管理事務局

日程:2023年9月~2024年8月